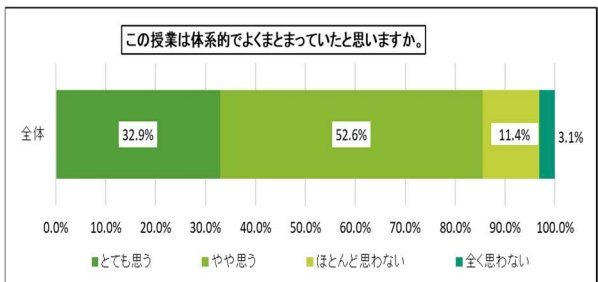
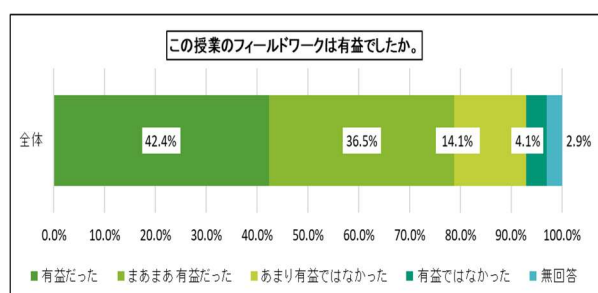
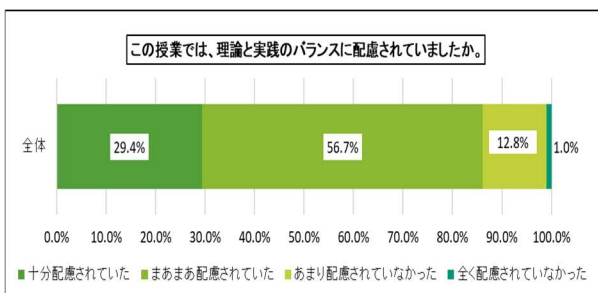
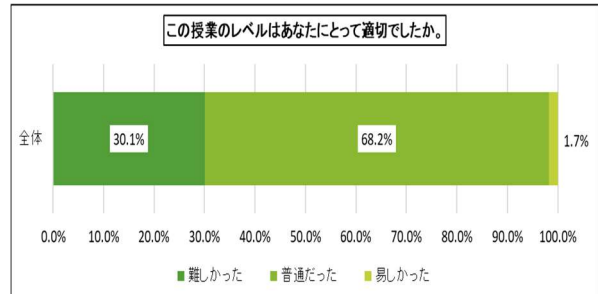
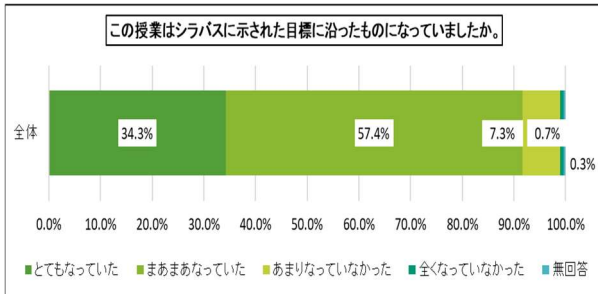


2018 年度 春学期 「授業アンケート」

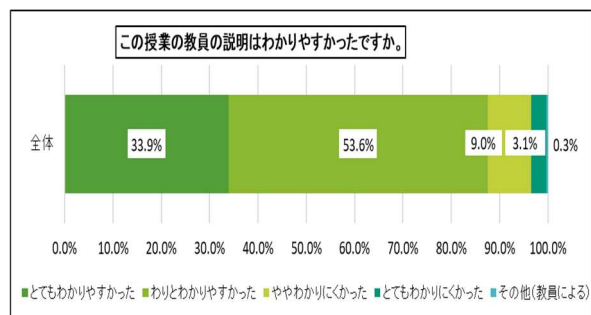
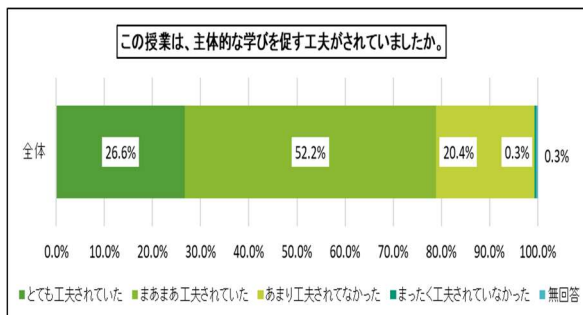
授業アンケートの結果

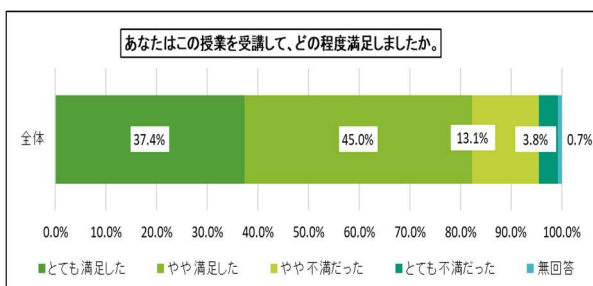
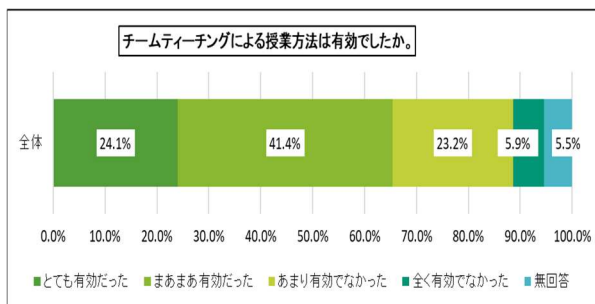
(1) 授業内容について



「授業内容について」は、理論と実践のバランスへの配慮に関する否定的な回答が14%弱あり、授業の体系的についても同程度のパーセントであった。目標に沿った授業に関しても否定的な回答が8%手程度あったことも課題である。全体的に昨年度より結果が芳しくない。本年度から集計しているフィールドワークの有益性について否定的な回答が28%程度あり、早急に改善する必要がある。

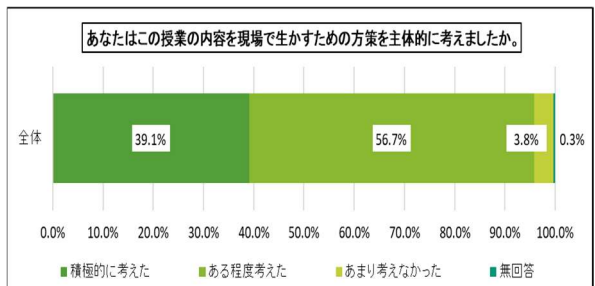
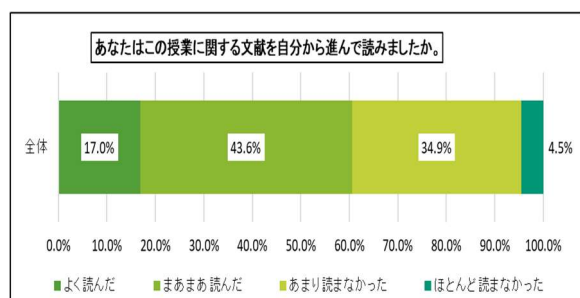
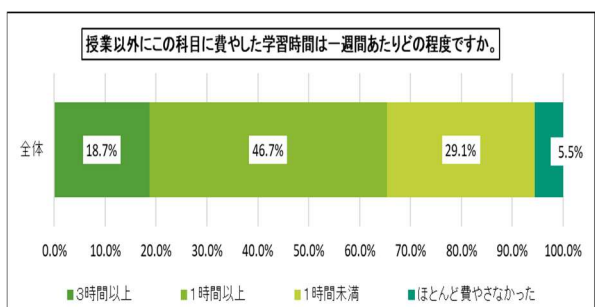
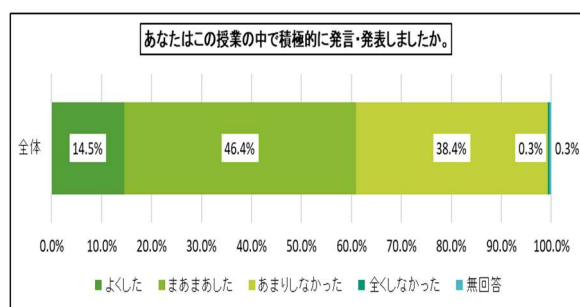
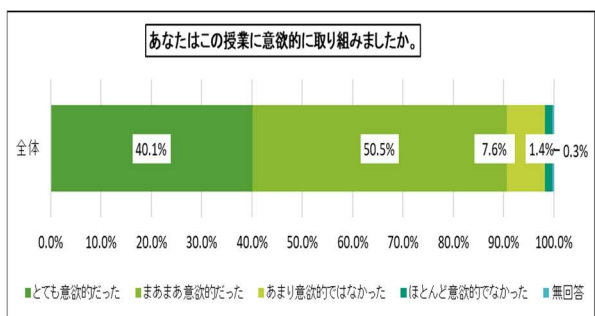
(2) 授業の進め方について





「授業の進め方」に関する結果も昨年度より芳しくない。授業の満足度に関して17%が否定的な回答をしていることは重く受け取らなければならない。本年度から集計しているチームティーチングの有効性に関して課題がある。授業に関する打ち合わせの時間を確保する必要がある。

(3) 受講生の取組について



「受講生の取組について」については、昨年と同様に授業内容を現場で生かそうとする意欲は強く、授業の取り組みも良好である。ただ、授業外の学習時間が少なく、授業に関連する文献を読むことをしていない学生が4割程度いる。また、4割程度の学生が授業中に積極的に発言しようとしなないことも問題である。昨年以上に学びに向かう姿勢が欠ける傾向がある。